

平成 28 年度第 1 回

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会

日時：平成 28 年 9 月 30 日（金）

午後 3 時～

場所：第三学区コミュニティセンター大ホール

《次 第》

1 開 会

2 挨拶

3 副委員長の選出について

4 意見交換等

（1）「地域コミュニティ推進計画」の推進に向けた取組状況について

（2）地区担当職員、生涯学習推進員の活動について

（3）その他

5 その他

6 閉 会

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会委員名簿

	氏 名	役 職	備 考
1	鈴木 淳士	鶴岡市町内会連合会副会長兼常務理事	
2	畠 山 健	鶴岡市消防団副団長	
3	山木 知也	鶴岡市社会福祉協議会常務理事	
4	小南 孝子	鶴岡市社会教育委員長	
5	清野 康子	鶴岡市生涯学習推進員	
6	阿 部 等	(特)公益のふるさと創り鶴岡常務理事	
7	田口 比呂貴	元鶴岡市地域おこし協力隊	
8	林 雅秀	山形大学農学部准教授	
9	武田 真理子	東北公益文科大学教授	委員長
10	松 浦 伸	藤島中学校元PTA会長	欠席
11	加藤 欣也	鶴岡まちづくり塾羽黒グループ	
12	鈴木 光秀	産直あぐり取締役	欠席
13	小関 祐二	六十里越街道会議会長	
14	斎藤 優子	あつみ湯けむり女子会会長	
15	石 塚 慶	鶴岡市三瀬地区自治会事務局長	欠席
16	齋 藤 建	鶴岡市藤島地区自治振興会会長	欠席
17	忠鉢 孝喜	鶴岡市温海地域自治会長会副会長	欠席
18	長谷川 結	雑誌編集者	欠席

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会幹事名簿

資料0-1

	所 属	職名	氏 名	備考
1	市民部	部長	佐藤 茂巳	
2	政策企画課	課長	永壽 祥司	欠席
3	地域振興課	課長	佐藤 光治	
4	防災安全課	課長	増田 亨	
5	環境課	課長	東海林 敦	
6	廃棄物対策課	課長	有地 裕之	欠席
7	健康課	課長	原田 真弓	
8	福祉課	課長	齋藤 功	
9	長寿介護課	課長	菅原 繁	
10	農政課	課長	武田 壮一	欠席
11	商工課	課長	阿部 真一	代理：森屋健一課長補佐
12	土木課	課長	佐藤 真	欠席
13	藤島庁舎総務企画課	課長	本間 光夫	
14	羽黒庁舎総務企画課	課長	渡部 功	
15	櫛引庁舎総務企画課	課長	佐藤 浩	
16	朝日庁舎総務企画課	課長	工藤 幸雄	
17	温海庁舎総務企画課	課長	三浦 市樹	
18	消防本部警防課	課長	岡部 満	
19	教育委員会学校教育課	課長	中野 洋	代理：小池健美課長補佐
20	教育委員会社会教育課	課長	本間 明	

事務局

コミュニティ推進課

職 名	氏 名
課長	渡邊 健
課長補佐	佐藤 玲子
主査	佐藤 智子
コミュニティ専門員	加藤 明
専門員	五十嵐 哲夫
地域コミュニティ支援員	加藤 保

地域庁舎総務企画課

所属職名	氏 名
藤島庁舎総務企画課コミュニティ防災主査	黒井 浩之
羽黒庁舎総務企画課コミュニティ防災主査	成沢 結花
櫛引庁舎総務企画課コミュニティ防災専門員	鈴木 賢
朝日庁舎総務企画課コミュニティ防災専門員	渡部 宏一
温海庁舎総務企画課コミュニティ防災専門員	栗田 甚吉

鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会設置要綱

(設置)

第1条 鶴岡市地域コミュニティ基本方針（以下「基本方針」という。）に定められた事項を適切に推進し、本市の地域コミュニティの維持・活性化に資するため、鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員会は、基本方針に定められた事項のほか、本市地域コミュニティの維持・活性化のための施策について検討するとともに、取組み主体に意見を付すこと。

(組織)

第3条 委員会は、地域活動に関わる組織の役員及び関係者、地域活動の経験者、学識者並びに公募委員をもって組織する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、平成29年3月31日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を一人置き、委員の互選によりこれを定める。
2 委員長は、会務を総括する。
3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(委員会)

第6条 委員会は、委員長が招集し、会の議長となる。
2 委員長は、必要に応じ、委員以外の者に出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務局)

第7条 委員会の庶務は、市民部において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

鶴岡市地域コミュニティ基本方針

《基本理念》

市民がまちづくりの主角として、個性あふれ豊かさを実感できる地域社会を築く地域コミュニティの構築

《目指すコミュニティ像》

- ・笑顔であいさつを交わす心の通った地域コミュニティ
- ・より良い地域環境を築くため、皆が力を合わせる地域コミュニティ
- ・地域課題の解決に向け、住民が主体的に取り組む確かな地域コミュニティ
- ・地域ごとの異なる文化や歴史を尊重し、個性あふれる地域コミュニティ



基本方針の推進

鶴岡市地域コミュニティ推進計画

《目指す5年後の方向性（平成32年度）》

地域特性を活かした住民主体による持続可能な地域づくりを進め、住民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、さらに心豊かな暮らしを築く

《計画の柱》

I 心の通い合う持続可能な住民自治組織づくり
III 住民主体による地域課題解決力の向上

II 住民の安全・安心な暮らしの確保
IV 地域の特性を活かした魅力の維持・再発見



推進計画の実践

地域ビジョン

（各住民自治組織で、将来の目指す姿と実現に向けた取組を策定）

具体的な取組 鶴岡市地域コミュニティ推進計画 体系図

《目指す5年後の方向性（平成32年度）》

地域特性を活かした住民主体による持続可能な地域づくりを進め、住民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、さらに心豊かな暮らしを築く

《計画の柱》

I 心の通い合う持続可能な住民自治組織づくり、II 住民の安全・安心な暮らしの確保、III 住民主体による地域課題解決力の向上、IV 地域の特性を活かした魅力の維持・再発見

	鶴岡地域 安全・安心な暮らしを守るための基盤強化と地域の魅力づくり	藤島地域 子どもから高齢者まで、仲良く住みよい藤島づくり	羽黒地域 みんなで育てる羽黒の魅力、笑顔あふれる地域活動の推進	櫛引地域 住民自治組織の活性化で安全・安心な地域づくり	朝日地域 地域の活力を掘り起し、朝日地域の次代を創り出す	温海地域 地域の特性を活かした持続可能なコミュニティづくり
◆ 単位自治組織に係る課題と取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域内の環境の変化に気づくための場づくり ② 住民自治組織への理解促進と会員確保 ③ 将来を見据えた持続可能な組織づくり ④ 活動の新たな担い手となる人材育成・確保 ⑤ 地域課題の把握と共有 ⑥ 緊急時や災害時に備えた会員情報の把握 ⑦ 地域の魅力となる伝統芸能等への理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> ① 各世代の住民ニーズにあった活動に再構築 ② 財政運営と会費のあり方の検討 ③ 広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し ④ 広域コミュニティ組織と一体となった安全・安心な体制づくり ⑤ 高齢者を近隣の輪で支える体制を再構築 	<ul style="list-style-type: none"> ① 集落規模の縮小と活動減少への対応 ② 役員等の負担軽減と担い手の育成 ③ 子どもや若者の事業参加や活動の担い手を確保する環境の整備 ④ 福祉・防犯・防災等安全で安心な地域づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ① 広域コミュニティ組織の検討 ② 住民自治組織等の理解促進と事業の見直し ③ 婚活支援と後継者対策 ④ 安全・安心な地域の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ① 単位自治組織の組織強化と活性化 ② 住民による持続可能な魅力的な事業づくり ③ 安全安心な地域づくりのための組織づくり ④ 単位自治組織の財産管理や環境整備作業の見直し ⑤ 希薄化した連帯感の再構築 	<ul style="list-style-type: none"> ① 多様な人材の活用と役員等の負担軽減 ② 単位自治組織の健全な財政運営に向けた検討 ③ 将来を見据えた単位自治組織のあり方の検討 ④ 防犯・防災への対応 ⑤ 次代を担う若者や子どもたちを取り巻く環境づくり ⑥ 高齢者等福祉の視点に立ったコミュニティづくり ⑦ 広域コミュニティのあり方の検討
◆ 広域コミュニティ組織に係る課題と取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域課題解決型運営の強化と単位自治組織の機能分担 ② 将来を見据えた持続可能な組織づくり、魅力的な事業づくり ③ 地域の課題解決やコミュニティ活動の輪を広げるためのコーディネート ④ 地域課題解決の手法として地域資源を活かしたコミュニティビジネスの検討 ⑤ 地域の魅力を再発見し地域の子どもの郷土愛を育む環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地区自治振興会の発足で新たな活動 ② 財政基盤の確立 ③ 地区内外の団体と連携強化 ④ 福祉と防災で新たな役割を確立 	<ul style="list-style-type: none"> ① 広域コミュニティ組織への理解と協力の促進 ② 単位自治組織等との連携と役割分担及び人材の育成 ③ 若者に魅力ある地域、子育てしやすい地域づくり ④ 防災拠点としての自主防災活動の推進 ⑤ 福祉・防犯体制の推進 		<ul style="list-style-type: none"> ① 住民理解促進と単位自治組織へのサポート体制機能の構築 ② 組織ごとの運営方法の確立 ③ 新たな人材の確保に向けた検討 ④ 朝日地域全体の生涯学習事業の検討 	

市のコミュニティ施策

- ① 住民主体による地域課題解決に向けた取組、② 広域コミュニティ機能の強化、③ 住民自治組織の強化に向けた新たな担い手の確保、④ 次代へつなぐコミュニティ意識の醸成、⑤ 持続可能な住民自治組織体制づくり、⑥ 小規模な単位自治組織の維持、負担軽減、⑦ 安全・安心な暮らしの確保に向けた地域体制づくり、⑧ 住民自治組織と行政の連携の強化、⑨ 地域づくりにつながる生涯学習活動

地域コミュニティ推進計画の推進について

将来を見据えた取り組みを進める「地域ビジョン」策定と実現に向けて

1. 「地域ビジョン」の策定に向けた支援

○目指すもの

自分たちの地域を、これまで以上に「住み続けたい」と思う地域としていくため、住民自治組織において、地域の現状や課題を洗い出すためのワークショップの開催や実態調査等を実施し、住民の合意のもと、将来のあるべき姿を見据え、取組を明確にしていく「地域ビジョン」の策定を目指します。

○効果

・身の回りの課題を解決したり、魅力ある地域づくりを目指す活動は、地域の状況やニーズを最もよく理解している住民自らが行うことで、より満足度が高い結果が期待できます。

・「地域ビジョン」策定により、地域(住民)が進むべき方向が定まり、具体的な実践に結びつくとともに、進捗状況を確認しながら取組を進めることが出来ます。

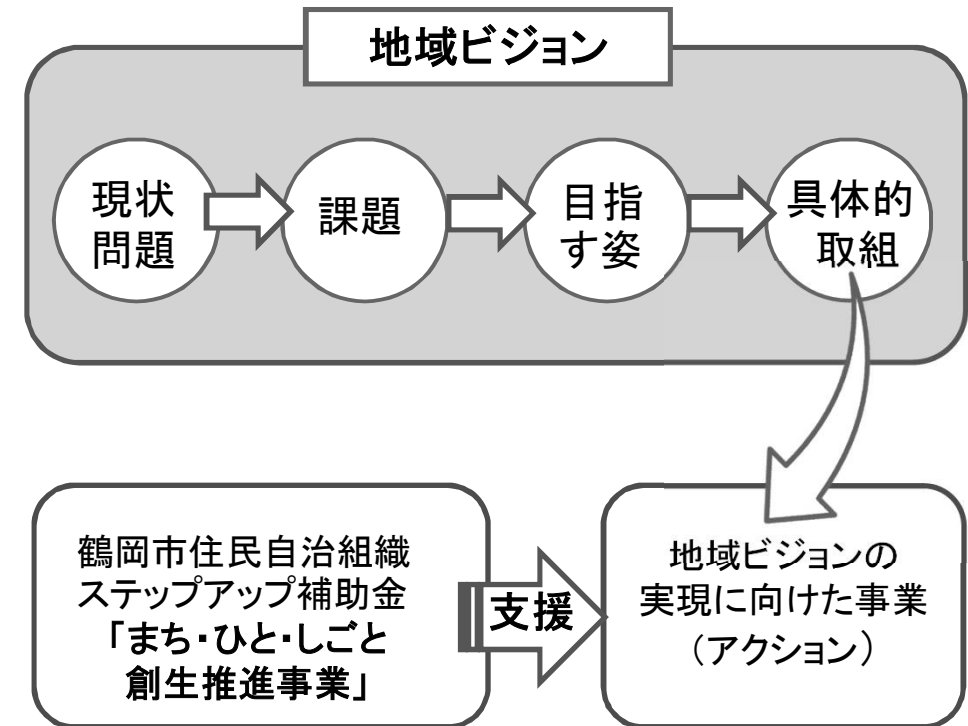
○市の支援

・地域ビジョンについては、市の地域コミュニティ支援員(集落支援員)、コミュニティ推進課(地域庁舎は総務企画課)職員や地区担当職員等が、地域の方々とともに共通の認識を深め、策定に向けた支援を行っていきます。*集落支援員:朝日・温海地域に配置。(過疎対策)

・ワークショップ開催等について、アドバイザーの派遣等を行っていきます。

2. 「地域ビジョン」の実現に向けて取り組む事業への支援

「地域ビジョン」を策定のうえ、「地域ビジョン」を実現するために取り組む事業に「住民自治組織ステップアップ事業補助金」を交付し、より効果的な取り組みとなるよう支援します。(補助対象経費等の要件があります。)



○鶴岡市地域コミュニティ推進計画(以下「推進計画」)の推進に向けた取組状況について

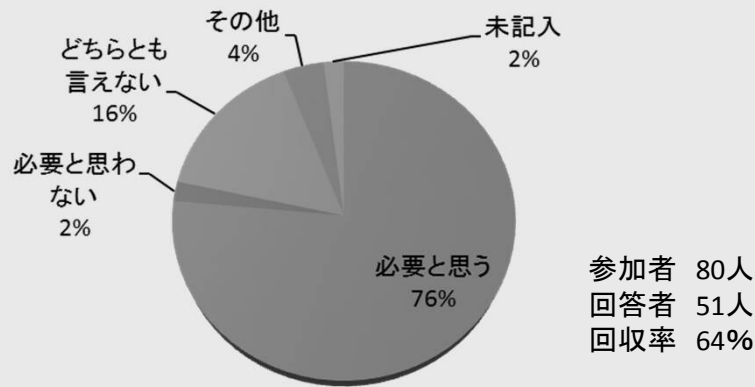
地域	鶴岡	藤島	羽黒	楡引	朝日	温海
Q1. コミュニティ推進計画の周知について	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画を住民自治組織(広域・単位組織)へ配付した。 ・広域コミュニティ組織の役員を対象に推進計画について説明を行った。(コミュニティ組織協議会理事会、自治振興会連絡協議会会長・事務局長会議) ・地区の住民を対象に推進計画の説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画を住民自治組織(広域・単位組織)へ配付した。 ・広域コミュニティ組織の役員を対象に推進計画について説明を行った。 ・藤島地域町内会長会において推進計画の説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画を住民自治組織(広域・単位自治組)へ配布した。 ・広域コミュニティ組織会長及び事務局を対象に推進計画について説明を行った。 ・地域づくり懇談会のテーマとして想定していることを班長(地区担当職員)、自治振興会へ説明した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画を住民自治組織(21地区)へ配布した。 ・地区担当職員の班長へコミュニティ推進計画を配布した。 ・区長会役員会や区長会で推進計画について説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画を住民自治組織(広域・単位組織)へ配付した。 ・朝日地域自治会連絡協議会及び朝日地域自治振興会連絡協議会の役員を対象に推進計画について説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進計画を全自治会長へ配付した。 ・自治会長会議において、会長を対象に推進計画の概要について説明を行った。
Q2. 地域ビジョン策定に向けた住民自治組織の取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ビジョン策定に向けた取組を始めた地域がある。住民アンケートの実施(大山) ・ビジョン策定に向けた研修会の開催予定(六学区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤島地区では26年度に実施した住民アンケートを冊子にまとめ、28年度からは地域ビジョン策定を目指し、ワークショップや視察研修を行っている。 ・藤島町内会長連絡協議会において、地域づくりを学ぶため金山町に視察研修を実施した。(9月7日) ・地域ビジョンの前段として地区防災計画の策定を進めている。(東栄、渡前) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域コミュニティ連合組織総会にコミュニティ支援員を招き、地域コミュニティ・コミュニティ推進計画・ビジョン等について研修会を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「小さな拠点」づくりをきっかけに、地域を見直す取組が始まった。(朝日東部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域集落対策事業を実施した10集落においては、集落振興ビジョンを策定済み。(暮坪、安土、木野俣、楨代、小名部、山五十川、鍋倉、関川、小国、峠ノ山)
Q3. 課題解決に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・市の防災の取組と地域の連携について(一学区) ・組織の再編検討(二学区) 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通空白地帯の解消に向けて方策を検討している。(長沼) ・地区防災計画策定について検討を進める中で、自治振興会として初となる防災訓練を実施した。(東栄) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治振興会において、資源ごみの回収、HP作成、会費徴収の検討、防災ラジオ導入の検討、新規地区防災訓練の実施、コミュニティビジネスの検討、羽四小の跡地利用検討等実施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区(区長)からの相談は総務企画課職員が対応し、担当部署につないでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「小さな拠点」づくり検討委員会の設置(朝日東部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区担当職員制度により、各集落で集落活性化懇談会を開催し、課題解決に向けた話し合いを進めている。その中から、ステップアップ事業を活用した取り組みも行われている。
Q4. コミュニティ活動の支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・各種コミュニティ活動に関連する助成制度や鶴岡地域の活用事例について一覧にまとめ、各コミセンへ周知している。 ・広域コミュニティ連合組織の会議等で市のコミュニティ支援(研修会への講師派遣や市の助成制度等)について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会長連絡協議会に助成し、各種コミュニティ活動や研修会の開催を支援している。(広域コミュニティ組織関係者も参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種コミュニティ活動に関連する助成制度等について、住民自治組織(広域・単位自治)に周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種コミュニティ活動に関連する助成制度の情報提供と、相談があった自治会への対応を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日地域自治振興会連絡協議会の会議で市の支援(研修会への講師派遣や市の助成制度等)について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種コミュニティ活動に関連する助成制度について一覧にまとめ、自治会長会議で情報提供している。 ・過疎地域集落対策事業実施集落については、集落支援員を配置し事業推進の支援を行っている。

地域コミュニティ推進計画の推進について

～ 住民自治組織代表者研修会を開催して ～

平成28年7月22日(金)に住民自治組織代表者研修会を開催し、コミュニティ推進計画について周知を図り、取組事例として藤島地区自治振興会の「住みよいまちづくりふじしまプロジェクト」の取組について発表いただきました。その後、「地域ビジョンをどう描くか」と題して東北公益文科大学 武田真理子教授より他地域の事例を交えながらお話しいただきました。

「地域ビジョン」の必要性について



H28.7.22 住民自治組織代表者研修会アンケートより

○「地域ビジョン」について思っていること、考えていること

- ・住民同士の意思疎通等、人間関係が良くなると思う。
- ・住民の意識をどうまとめていくか難しい。
- ・将来を担う若い人たちの地域の将来像はしっかり把握していきたい。
- ・お互いさまの暮らしを考えていく。
- ・地域の現状を知ることから。
- ・自治会(地域)のビジョンは必要だが、地域を維持するのが大変。行政の役割が地域に降下しているのではないか。
- ・冊子作りのエネルギーを行動のエネルギーにして、意識向上と改善の話し合いを繰り返し実施することがビジョンと思う。することが必要。
- ・あればいいと思うが、それにしばられてしまうという心配も感じる。柔軟に構えていきたい。(小規模の地域です)
- ・学区ごとに必要なのか、負担が多い。出来るか不安だ。
- ・地域ビジョンは必要と思うが、結局は行政の顔色をうかがいながらになるので、作る意味がなくなってしまう場合もあるので難しい。

○あなたの地域で地域づくりに向けて実施していきたいこと

- ・コミュニティ基本方針に沿った実践。ビジョンを作成する。
- ・自治振興会の立ち位置の明確化、及び地域住民から必要とされる(信頼される)振興会となるため、具体的に活動し実績を作る。
- ・人づくり、後継者づくり。 ・住民の地域に対する興味とプライドの醸成。 ・地域資源の活用。 ・地域の宝物マップ作り。
- ・安全、安心な地域づくり。何かあったら共助できる雰囲気づくりと維持。 防災、空き家対策
- ・高齢者の見守りの体制。高齢者福祉に関し、「高齢者世帯(1人・2人暮らし)」に対する軽度生活支援について。
- ・若い人等、公募しての〇〇活性化委員会などは、屋上屋を架すとならないように立ち上げたい。
- ・農家と購入者7連携事業(野菜の地産地消) ・地域で熱くなれるものを探す。 ・今、行っている事を充実したい。

鶴岡市住民自治組織ステップアップ事業補助金について

鶴岡市では、住民自治組織自らが、地域における問題の解決や課題の達成、若しくは魅力ある環境づくりに向け、新たに取り組む地域づくり事業等を支援し、市民がまちづくりの主役として、個性あふれ豊かさを実感できる地域社会を築く地域コミュニティの構築を推進します。

また、平成28年度から「まち・ひと・しごと創生推進事業」を加え、住民自治組織の地域ビジョン策定を促し、地域課題の解決等の手段として地域資源を活用したコミュニティビジネスの取組を支援します。

対象事業

住民自治組織自らが、地域における問題の解決や課題の達成、若しくは魅力ある環境づくりに向け、新たに取り組む“地域づくり事業”を対象とする。ただし、既存事業でも成長、発展等ステップアップの要素があるものも対象とする。

- (1)安全、安心に暮らせる地域づくりに取り組む事業
- (2)明るく活力のある地域にするための事業
- (3)その他、地域づくりに特に必要と認められる事業
- (4)まち・ひと・しごと創生推進事業(新規)**

- ①将来の目指す姿と実現に向けた取組を定める地域ビジョン策定のうえ地域ビジョンに基づき取り組む事業
- ②地域課題の解決に向けた地域資源や人材を活用したコミュニティビジネスへの取組

事業の補助率等

※同一年度内において、1団体1事業とします。

対象	単位自治組織 (自治会、町内会等)	広域コミュニティ組織・ 広域連合組織
補助金額 上限額	1回あたり10万円 複数回は計20万円	1回あたり20万円 複数回は計50万円
補助率	補助対象経費の合計額の3分の2以内(先進地視察研修にかかる経費の内、交通費は2分の1以内)の額	
交付回数	同一事業での交付は、年1回、合計3回を限度	

取組事例

*地域ビジョン策定に向けた取組や持続可能な組織体制の構築、コミュニティビジネスの取組について掲載。

○住民自治組織が関係する団体組織改革

(鶴岡 第六学区コミュニティネットワーク)

少子高齢化・人口減少社会において、持続可能な組織体制を構築するため、組織改革プロジェクトを立ち上げ、組織のスリム化や役員の負担軽減策を検討し、平成28年度、第六学区コミュニティネットワークを立ち上げました。

○お互いが支え合って生きる「共生」のまちづくり

(鶴岡 新海町町内会)

平成27年度は、住民の意識改革を進めるため、町内会、隣組の運営体制を整備しました。平成28年度は町内会役員、隣組役員、隣組防災担当者の研修を実施し、お互いが支え合い生きる「共生」のまちづくりを目指します。

○コミュニティビジネスへの取組

(鶴岡 湯田川地区自治振興会)

湯田川地区の特産である梅、孟宗を加工を通じて、地域の有志を募り、地域コミュニティの一体感を高め地域の環境保全と地域の活性化を図る取組が行われています。

○住みよいまちづくり ふじしまプロジェクト

(藤島地区自治振興会)

地域ビジョン策定に向け、住民参加のワークショップを開催し、地域の現状と課題を洗い出し、「子どもから高齢者まで仲良く住みよい藤島づくり」実施計画の立案を目指します。

○地区担当職員の活動状況について(平成28年4月～8月)

資料2

地域	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
配置地区と人数	広域コミュニティ単位 21地区 69名 *この他、コミュニティ推進課職員も各地区に配置	広域コミュニティ単位 5地区 30名	広域コミュニティ単位 4地区 25名	単位自治組織 21地区 40名	広域コミュニティ単位 単位自治組織 38地区 45名	単位自治組織 27地区 49名
Q1. 活動回数	10地区 延べ18回	5地区 延べ10回	4地区 延べ4回	*活動実績なし	7地区 延べ9回	2地区 延べ2回
Q2. 活動状況概要	<ul style="list-style-type: none"> ・班長会議を開催し、班長が地区ごとに推進計画を配布しながら、今年度の活動について地域と打合せをすることにした。 (地区単位の活動内容) ・安全安心の絆づくり推進会議への出席(一学区) ・町内会ビジョン策定会議に出席した。(大山) ・地域づくり懇談会に出席し、地域の実情把握に努めた。(小堅、上郷) ・市長と語る会への出席(上郷) ・コミセンで行われた推進計画の説明に同席し、計画の内容把握に努めた。(六学区、湯野浜) その他、地区役員会への出席と市からの情報提供、地区で実施する事業への参加、地区役員・職員との打合せ 	<ul style="list-style-type: none"> ・班長会議を開催し、班長が地区ごとに推進計画を配布しながら、今年度の活動について地域と打合せをすることにした。 ・各地区自治振興会理事会や評議員会に出席し、問題意識の共有と課題の把握に努めている。 ・出された課題や要望等は、担当課に照会し、対応を依頼している。 (地区単位の活動内容) ・地域コミュニティ推進計画について説明し、地域ビジョン策定の必要性を訴えている。(藤島) ・東栄地区では自治振興会として初となる防災訓練を実施し、地区防災計画策定について検討を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治振興会評議員会出席 ・自治振興会の自主性を育てるため、会議の持ち方・テーマ・日程等を自治振興会主導で実施してもらうようにしたため、現在は未実施となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・櫛引地域では4月の区長会で『地域づくり懇談会』の開催について提案し、5つの設定テーマからも選択できるように提示した。特に感心が高いと思われる赤川洪水ハザードマップもテーマに盛り込みたかったことから10月以降の開催となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で開催される住民懇談会に出席し、地区の状況を把握した ・「小さな拠点」づくり検討委員会(朝日東部)に出席し、課題解決の検討に参加した 	<ul style="list-style-type: none"> ・班長会議を開催して班長に推進計画を配布し、集落活性化懇談会での話し合いのテーマとするよう説明した。 (地区単位の活動内容) 地区担当職員が集落活性化懇談会に出席し、地域の実情把握と情報提供を行った。 ・集落活性化事業の振り返りと今後の活動について(楨代) ・集落振興ビジョン活動項目の確認と課題整理(暮坪)
Q3. 今後の活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の会議や懇談会等へ出席し、地域の状況、課題把握に努めるとともに、「地域ビジョン策定」に向けた取組を支援する。 ・班長会議を開催し、活動について情報共有を図り、班長からは地区へ地区担当職員が何らかの活動ができるように働きかけをしてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の会議や懇談会等へ出席し、地域の状況、課題把握に努めるとともに、「地域ビジョン策定」に向けた取組を支援する。 ・班長会議を開催し、活動について情報共有を図り、班長からは地区へ地区担当職員が何らかの活動ができるように働きかけをしてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような地域になっていきたいのか(地域ビジョン)を大握りテーマに、2～3年かけて地域の方向性を探っていくため、各自治振興会とも今年度中に1～2回、実施する予定となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月以降に『地域づくり懇談会』を各地区ごとに開催する。 ・赤川洪水ハザードマップの見直しを行なう地区が21地区中16地区あるため、懇談会のテーマのひとつとして取り組めるよう検討する。9月29日の自治会役員を対象にしたマップ説明会には地区担当職員も参加予定。 ・すでに日程が決定した地区を含めて多くの地区で年内の開催が見込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域コミュニティ組織の会議等へ出席し、地域の状況、課題把握に努めるとともに、「地域ビジョン策定」に向けた取組を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の会議や懇談会等へ出席し、地域の状況や課題把握に努めるとともに、課題解決に向けた取り組みを支援する。 ・集落振興ビジョン策定に向けた取組を支援する。

地域	鶴岡	藤島	羽黒	楡引	朝日	温海
Q4. 成果と課題	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動により地区の状況把握ができた。 ・班長が地区の会長や事務局長へ出向き、今後、地域課題への取組へ地区担当職員がどう関わるか筋道をつけることができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとに活動のバラツキがある。(地区で地区担当職員制度の理解が得られないことも原因のひとつ。) 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区ビジョンの策定に向けて積極的に取り組んでいる地区があり、地区担当職員もワークショップに参加する中で一体感が生まれている。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治振興会の会議等には参加しているが、課題抽出や具体的な取り組みに向けた話し合いには至っていない。 ・自治振興会役員の地区ビジョン策定に向けた意識の差が大きく、地区により進捗の差が大きい。 	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区担当職員の関わりについて、市側からの働きかけ・声かけを待っている受け身的な地区があるなど、制度理解にバラツキがある。 	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動が集落単位となるため、班長等が複数地区を担当しなければならない。 ・地域づくり懇談会を開催しているが、地域の主体的な課題解決への取組に至っていない。(今年度の地域づくり懇談会は10月以降開催) 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動により地区の状況把握ができた。 ・地区の課題解決への取組に協力するができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとに活動のバラツキがある。(地区で地区担当職員制度の理解が得られないことが原因) 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動により地区の状況把握ができ、また、集落が必要とされる情報の提供ができた。 ・ステップアップ事業を活用した具体的な事業活動ができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年集落活性化懇談会を開催しているが、地元の意向により開催しない集落もある。 ・地域庁舎の職員数が減少しており、班長担当職員を主査まで広げたが、一人で3～4集落担当しなければならない。
Q5. 今後、地区担当職員が活動するにあたり必要なこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者としてのファシリテーションや課題整理の仕方などの技法(手法)の学び ・情報交換により、他地区の活動状況を把握し、自らの地区の活動の参考にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き班長会を定期的で開催し、進捗状況や活動内容について他地区と情報交換と図る。 ・地域コミュニティ推進計画についてまだ説明に入っていない地区は、早急に機会をつくる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ推進計画や地域ビジョンについて、地区担当職員への周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当地区の概要(特徴的な事項や主要行事)を把握すること。 ・他地区の活動状況を把握すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者としてのファシリテーションや課題整理の仕方などの技法(手法)の学び ・情報交換により、他地区の活動状況を把握し、自らの地区の活動の参考にする。 ・地区の現状や課題を把握する取り組みが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの活性化や集落振興の成功事例の研修。 ・職員を対象としたビジョン策定支援方法の講習。 ・自治会長や役員を対象としたビジョン策定に向けた研修。

鶴岡市生涯学習推進員について

1 目的

鶴岡地域の学区・地区コミュニティセンターや藤島・羽黒・朝日地域の地域活動センター等、櫛引地域の櫛引公民館や温海地域の温海ふれあいセンター等をそれぞれ活動拠点とし、住民の多様な学習活動や交流活動などの生涯学習事業に関し、運営組織（コミセン等事務局）等と連携を図りながら、事業を企画・実践するとともに、広く住民の参加を奨励し、よりよい地域づくりに資することを目的とする。

2 活動内容

(1) 以下の内容に関する活動を行う。

① 各コミセンや公民館等と連携した生涯学習事業の実施及び住民の生涯学習活動支援に関すること。

ア 各種社会教育、生涯学習事業の企画立案

イ 各種社会教育、生涯学習事業への参画と住民参加の奨励

ウ 各種社会教育、生涯学習事業における連携事業などのコーディネート

② 住民に対する生涯学習に関する情報収集、情報提供に関すること。

③ 住民の求めに応じた、学習相談や指導・助言等に関すること。

④ 教育機関等が実施する研修への参加など自己研鑽に関すること。

⑤ その他、生涯学習の振興に関すること。

(2) 活動の範囲

① 各コミセンや公民館等が実施する事業に参画する。

② 各地域全体として実施する事業に参画する。

③ 市全域に係る事業に参画する。

④ 小学校、中学校、地域等との連携事業に参画する。

⑤ その他、必要に応じて実施する生涯学習事業に参画する。

【配置状況】

区分	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	合計
配置地区数	広域コミュニティ単位	広域コミュニティ単位	広域コミュニティ単位	櫛引公民館	広域コミュニティ単位	温海ふれあいセンター、地区自治会	
	21	5	4	1	3	5	39
H27 人数	85	25	20	11	16	17	174
H28 人数	86	26	20	11	16	16	175

※ 生涯学習推進員の任期は2年（再任も可）

※ 温海地域の4つの地区自治会は館を持たない広域組織

○平成 27 年度の主な活動内容

鶴岡地域

- ・各種講座の企画立案、運営（成人講座、高齢者講座 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営（高館山少年教室・大山、ちびっこ広場・第3学区、夏休み勉強会・第4学区 等）
- ・地域イベントへの企画立案、運営（夏祭り、大漁フェスティバル・加茂 等）
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等(コミセン祭り、文化展 等)
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営（てくてくウォーク、運動会、軽スポーツ大会 等）
- ・地域づくり活動の企画立案、運営(住民のつどい・上郷、年輪のつどい・湯田川 等)

藤島地域

- ・各種講座の企画立案、運営(地域学習講座・東栄、男の料理教室・八栄島、高齢者講座・八栄島、成人講座・長沼・渡前、総合研修会・渡前、郷土史セミナー・渡前 等)
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営(ふじっ子まつり・藤島、アソベンチャークラブ・東栄、わらしっこ楽園・八栄島、わんぱく広場・長沼、ドリームランド・渡前 等)
- ・地域イベントへの企画立案、運営(さなぶり祭り・藤島、高校生との音楽交流会実行委員会・長沼、渡前地区地ふぶき祭り 等)
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等(センターフェスタ・藤島、東栄芸術祭あさひ博、活セン祭り・八栄島、芸術文化祭・長沼・渡前、等)
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営（グラウンドゴルフ大会・東栄・八栄島・渡前、球技大会・東栄、軽スポーツ大会・東栄、ソフトボール大会・渡前、ウォーキング教室・渡前、冬季レクレーション大会・東栄・八栄島、市民運動会 等）
- ・地域づくり活動の企画立案、運営(地域づくり懇談会・藤島)

羽黒地域

- ・各種講座の企画立案、運営（DIY 教室、男の料理教室、生きがい講座 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営（親子 de 探検隊、こだま秋の家 等）
- ・地域イベントへの企画立案、運営（山のつどい、川で遊ぼう、第四地区夏まつり 等）
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等(各地区文化祭 等)
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営(学区運動会、親睦球技大会、泉地区体育大会、ナイターバレー 等)
- ・地域づくり活動の企画立案、運営（青少年の現状を語る会、防災訓練 等）

櫛引地域

- ・各種講座の企画立案、運営（趣味の講座、生涯学習推進員会議）
- ・文化祭の展示、準備

朝日地域

- ・各種講座の企画立案、運営（生涯学習推進員会議 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営（ジュニアキャンプ）
- ・地域イベントへの企画立案、運営（文化まつり、芸能文化まつり、敬老会 等）
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営
（軽スポーツ大会、グラウンドゴルフ大会、地区運動会 等）
- ・地域づくり活動の企画立案、運営(かたくりの子四つの運動、等)

温海地域

- ・各種講座の企画立案と運営（市民大学、国際理解講座、青年講座 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案と運営（青少年ボランティア養成講座、リーダー研修会 等）
- ・温海文化祭の企画立案と運営